

## 安全データシート

改訂日:2023年4月7日

1. 製品及び会社情報	
製品名	テルピネオール(異性体混合物)
推奨用途	試験研究用
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町2丁目3番11号
電話番号	(06)6231-3555(大阪・本社) (03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田) (052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
整理番号	DD0301
2. 危険有害性の要約	
GHS分類	
物理化学的危険性	引火性液体:区分4
健康に対する有害性	急性毒性(経口):区分5(UN)
ラベル要素	
絵表示又はシンボル	絵表示なし
注意喚起語	警告
危険有害性情報	可燃性液体 飲込むと有害のおそれ
注意書き	【安全対策】 裸火や高温のものから遠ざけること。ー禁煙。 保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。 【救急処置】 火災の場合には適切な消火方法をとること。 気分が悪い時は医師に連絡すること。 【保管】 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 【廃棄】 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
3. 組成及び成分情報	
化学物質・混合物の区別	混合物
化学名	テルピネオールの異性体混合物
別名	ターピネオール
化学式	C <sub>10</sub> H <sub>18</sub> O
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS RN:8006-39-1
成分及び含有量	テルピネオールを主成分とするパインオイル 100%
官報公示整理番号(化審法、安衛法)	(3)-2323
4. 応急措置	
吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	石けん水、水で十分洗い流す。 医師の診断を受ける。
眼に入った場合	清水で15分以上洗い流す。 医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	口の中を洗浄後、多量の水を飲ませて吐かせ、直ちに医師の手当を受ける。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	粉末消火剤、泡末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂
使ってはならない消火剤	棒状注水
特有の危険有害性	火元への燃焼元を絶ち、風上から消火剤を使用して消火する。
特有の消火方法	周辺火災の場合は速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周辺に散水して冷却する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。 密閉された場所に立入る前に換気する。 適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
環境に対する注意事項	河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策(局所排気、全体換気等)	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱い注意事項	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。 適切な保護具を着用する。

<p>接触回避 衛生対策 保管 安全な保管条件</p>	<p>10項に示す混触危険物質との接触を回避する。 取扱い後はよく手を洗うこと。</p> <p>消防法の規定に従う。 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。-禁煙。 容器を密閉して換気の良いところで貯蔵すること。 換気の良い涼しい場所で貯蔵すること。 容器は直射日光や火気を避けること。 施錠して貯蔵すること。 ガラス、スチール</p>
<p>安全な容器包装材料</p>	
<p>8. ばく露防止及び保護措置 許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標) 管理濃度 日本産衛学会 ACGIH 設備対策</p> <p>保護具 呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具</p>	<p>未設定 未設定 未設定 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には、適切な洗眼器と安全シャワーを設置すること。 ばく露を防止するため、作業場には適切な全体換気装置、局所排気装置を設置すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。</p> <p>適切な呼吸器保護具を着用すること。 適切な保護手袋を着用すること。 適切な眼の保護具を着用すること。 適切な保護衣を着用すること。</p>
<p>9. 物理的及び化学的性質 物理状態 色 臭い 融点/凝固点 沸点又は初留点及び沸点範囲 燃焼性 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 引火点 自然発火温度 分解温度 pH 動粘性率(粘度) 溶解度 n-オクタノール/水分配係数 蒸気圧 密度及び/又は相対密度 相対ガス密度 蒸発速度</p>	<p>液体 無色～淡黄色透明 特異臭 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 61.0°C 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 0.90～0.93 該当情報なし。 該当情報なし。</p>
<p>10. 安定性及び反応性 反応性、化学的安定性 危険有害反応可能性 避けるべき条件 混触危険物質 危険有害な分解生成物</p>	<p>通常の取り扱いにて安定。 自己反応性はない。 高温、日光、混触危険物質との接触 強酸化剤、強塩基 該当情報なし。</p>
<p>11. 有害性情報 急性毒性 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 眼に対する重篤な損傷性又は刺激性 呼吸器感受性又は皮膚感受性</p> <p>生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 誤えん有害性</p>	<p>経口 : LD50-ラット 4300g/kg(テルピネオール)から区分5とした。(JIS区分外) 該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない) 呼吸器: 該当情報なし。(分類できない) 皮膚 : 該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない)</p>
<p>12. 環境影響情報 生態毒性</p> <p>残留性・分解性 生体蓄積性 土壌中の移動性 オゾン層への有害性</p>	<p>短期: (急性) 該当情報なし。(分類できない) 長期: (慢性) 該当情報なし。(分類できない)</p> <p>該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。(GHS分類:分類できない)</p>

## 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。

## 14. 輸送上の注意

## 国連番号

1272(パインオイルとして)

品名(国連輸送名)

パインオイル

国連分類

クラス3

容器等級

Ⅲ

海洋汚染物質

該当する(P)

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。

国内規制がある場合の規制情報

陸上輸送

消防法の規定に従う。

海上輸送

船舶安全法の規定に従う。

航空輸送

航空法の規定に従う。

応急措置指針番号

129

## 15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)

指定化学物質に該当しない。

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物に該当しない。

消防法

危険物第4類引火性液体、第二石油類非水溶性液体(第2条第7項危険物別表第1)

労働安全衛生法

危険物・引火性のもの(施行令別表1)

船舶安全法

危険性又は有害性を調査すべき物[]

港則法

引火性液体類(危規則第2条危険物告示別表)

航空法

引火性液体類(施行規則第12条危険物の種類を定める告示別表)

引火性液体(施行規則第194条)

## 16. その他の情報

参考文献

NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP)

European Chemical Bureau, IUCLID Dataset, 2000

Richard J. Lewis, Sr, SAX'S DANGEROUS PROPERTIES OF

合成香料(化学工業日報社)

危険物船舶運送及び貯蔵規則並びに関係告示

緊急時緊急措置対応指針

記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。